

ふくしの総合相談所 暮らしサポート成田

通信
第2号

発行 平成28年4月

再出発(Restart)



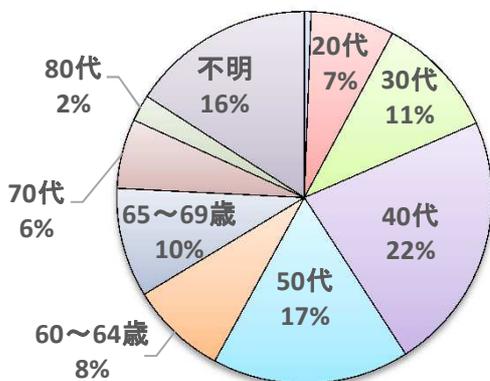
2年目を迎えました

生活困窮者自立支援の制度ができて1年が過ぎ、この間、暮らしサポート成田では347人の方からの相談を受けました。相談の内容は「収入や生活費」「仕事」「家賃や公共料金の支払い」「貸付」「病気」などが多く、また相談者の年齢層をみると30代から50代の稼働年齢の方が半分を占め、60代以上の方の仕事をしたいという相談も目立ちました。

相談者と一緒に市役所やハローワーク、不動産会社等を回ることもあります。また遠方にお住まいの方や相談に来ることができない方に対しては訪問して支援を行っています。

暮らしサポート成田では「家賃の一部補助(利用にあたっては要件があります)」や「家計の相談」「就労準備支援」などを行っています。困っていることがあれば早めに相談ください。相談は早い方が支援策も多く生活再建も進みます。「家賃の一部補助」などの詳しい内容についてはお気軽にお問合せください。

相談者の年齢別割合(平成27年4月～28年3月)



商工会館1階の暮らしサポート成田の事務所です。相談は無料で秘密は守られます。訪問して相談を受けることも行っています。

これまでに寄せられた相談の中から…

- ・限られた収入のため、赤字にならないように家計のやりくりをしたい。
- ・家賃が払えない。仕事が決まったが初回給料日までお金がない。
- ・高齢のため仕事がない。
- ・クレジットの支払いができない。
- ・しばらく働いていなかったので再就職は難しいと思うので、サポートを受けながら就職活動をしたい。
- ・働きたい。一人暮らしをしたい。現状を変えたい。
- ・料金滞納で携帯電話が使えなくなった。派遣の仕事につけなくなり生活が苦しい。
- ・一日も早く自分が適応できる環境がある会社に再就職したい
- ・生活保護を受けず、すぐに再就職をして自分で生活を立て直したい。
- ・5年前にアルバイトを辞めた。預金も少なくなったので仕事につきたい。

生きづらさを抱えた方を 応援するサポーターづくり



社会では様々な生きづらさを抱えて生活している方がたくさんいます。心が安定している人は周囲に相談をすることができますが、生きづらさを抱えている人は相談する人がいなかったり、相談することに辛さを感じたりして、結果的に一人で抱えながら生活しています。

3月に「ホームレス支援」「引きこもり家族の支援」を行っている方から、サポートの考え方を多くのボランティアと共に学びました。引きこもりの方などが地域のサロンに参加したりボランティア活動を始めたりするときにサポートをしていきたいと思えます。また、一緒に活動がしたいとお考えの方はどうぞ暮らしサポート成田までご連絡ください。

「法律」と「こころ」の 相談会を開催しました

地元の弁護士の協力のもと、3月6日（日）に成田市保健福祉館で弁護士と社会福祉専門職による相談会を開きました。予約制で一人50分の無料相談に3組の方が参加しました。

開催の目的は、債務や家の立ち退きなどの問題を抱える方、相続の問題、あるいは人間関係でお困りの方などに対して法律面からの助言をし、相談者が解決を図ることに役立ててもらおうというものです。法律関係以外の困りごとに関しては暮らしサポート成田での支援を紹介しています。

債務整理・・・

相談会の後に弁護士の方から伺った話では、単身の方では手取り収入18万円くらいの収入のある方まで債務整理は可能で、ある程度の額まで自由財産も認められているとのことでした。困っているときは弁護士や法テラスなどへの早めの相談をおすすめします。

暮らしサポート成田では法テラスなどの機関へ同行するなど、債務整理や家計の相談にも応じています。まずはご連絡ください。

暮らしサポート成田の就労支援

◆ 履歴書でのピーアールを考える

今まで一人で書いていた履歴書を、採用してもらえるよう企業側にピーアールできるものに変えていきます。自分で書いた履歴書を一度見せていただき、面接官がわかりやすく、またご本人のことをよく理解してもらえるような履歴書にするための添削を行います。志望動機は応募する会社ごとに一緒に考えていきます。

◆ 希望の仕事を一緒に探します

一人で探しているとなかなか思うように仕事が見つかりません。少し視点を変えて、支援員の目から見て選んだ仕事も相談者と一緒に検討していきます。もし不採用になった場合は次の面接に向けて気持ちを切り替えることができるようにサポートしていきます。

就労支援員が親身になって仕事探しのお手伝いをします。ぜひご利用ください。

【編集後記】

暮らしサポート成田通信第1号を発行してから随分日が経ってしまいました。お詫び申し上げます。5年間仕事をしていなかった30代の男性が4月から働くことになりました。相談員とハローワークに通い、履歴書を何通も書き、何度も面接に挑戦していました。求人があるときのタイミングを活かして就職するためにも継続して就職活動をすることが大切だと実感しています。

